

農業後継者育成基金事業

平成24年度 農業高校助成事業（就農促進対策助成）

事業主体名 鶴翔高等学校

1 目的

農業高校の生徒として、農の大切さ及び重要性を認識させると共に、いろいろな事業をとおして体験させながら興味・関心をもたせて、将来は自ら農業後継者として育つことを目的とする。また、地域との連携を促進し地域の農業後継者としてふさわしい人材の養成および農村社会を支えるリーダー的人材の育成を目的とする。

2 実施状況

(1) 外部講師によるフラワーアレンジメントの実施

6・11月、外部講師をお呼びし、農業科学科の「生物活用」の授業の中で花束とコサージュ作成について学んだ。これを生かしコサージュを作成し今年の卒業生全員に、胸に飾ってもらい好評であった。また、フラワーアレンジメントの県大会や資格取得の際にも、この講義が役に立ち合格率を上げることができた。



(2) 視察研修の実施

2月に農業科学科の1・2年生で南九州畜産興業と、輝北農業公社にて視察研修を実施した。学校を離れての視察研修で地域農業の現状や展望あるいは課題などについて勉強すると同時に農業への関心を高めることができた。



3 今後の課題、取組

年々、非農家の生徒の割合が増加し、農業後継者が減少する傾向にある。その中で、いかに農業後継者を確保し、かつ営農に誘導していくかが大きな課題である。その中で近年、農業法人の募集も増えているので、農業後継者の育成ももちろん最重要であるが、農業法人等への就職等も視野に入れて取り組む必要があると考える。